

サンダイヤ オイルタンク 仕様書

型 式		分 類 記 号	
K S 2 - 5 0 0		H J 1	
仕 様 明 細 書			
容 積 容 量 使 用 燃 料 種 類	5 0 0 リットル 4 5 0 リットル 灯 油 据 置 式 (脚 部 固 定) ・ 屋 外 用		
本体材質、板厚 脚材質、板厚 補強材質、板厚	溶融垂鉛メッキ鋼板、 2 . 0 mm 垂鉛メッキパイプ、 $\phi 5 0 . 8 \times 1 . 6$ mm 溶融垂鉛メッキ鋼板、 3 . 2 mm		
溶 塗 検 査 包 装	シーム溶接、CO ₂ アーク溶接 ポリエステル樹脂静電粉体塗装 本体密閉後、49kPaの空気圧による全数検査 PEシート、エアキャップ		
油 量 計 給 油 口 通 気 管 送 油 口	無指向性フロート上下表示式 $\phi 6 0$ mm $\phi 2 5 . 4$ 、40メッシュ金網付 Rc 3 / 4 めねじ ストレナパルプ (R 3 / 4 \times R c 1 / 2) $\phi 8$ 鋼管用ジョイント付		
塗 装 色 完 成 重 量	本体・脚 (ライトページュ 2 1) 約 1 0 3 k g		
耐震設計条件	「局部震度法」により、以下の条件以内でご使用ください。 (建築設備耐震設計・施工指針 2 0 1 4) 設計水平震度 $K_h = K_0 \cdot K_1 \cdot Z \cdot \beta \cdot I = 1 . 4$ 以下としてください。 床に作用する水平震度、K_0 = 通常は 1 . 0 (0 . 8 ~ 1 . 0) 建物の床応答倍率、(地上又は 1 階) K_1 = 通常は 1 . 0 地域係数、Z = 通常は 1 . 0 (0 . 7 ~ 1 . 0) 本図オイルタンクの応答倍率、$\beta = 1 . 4$ 用途係数、I = 通常は 1 . 0 (0 . 7 ~ 1 . 5) 耐震設計質量 W = 通常は 4 6 3 k g (タンク + 灯油質量) 基礎・ボルト あと施工接着式 M 1 2 埋込長さ 9 0 mm 以上。 基礎コンクリート設計強度 1 . 8 k N / c m² 以上。		
耐 震 性	1 G 対応。以下の通り 1 G (9 8 0 ガル) 相当以上の試験に対応しています。 神戸海洋気象観測波 (1 9 9 5 . 1 . 1 7) の 1 2 0 % 条件にて三軸加振の耐震性確認。 最大合成速度 : 1 3 5 (カイン) (1 成分で 1 0 8) 最大合成加速度 : 1 4 5 0 (ガル) (1 成分で 1 3 0 0)		

注) タンクの設置については、据付説明書をご覧ください。



株式会社 サンダイヤ

